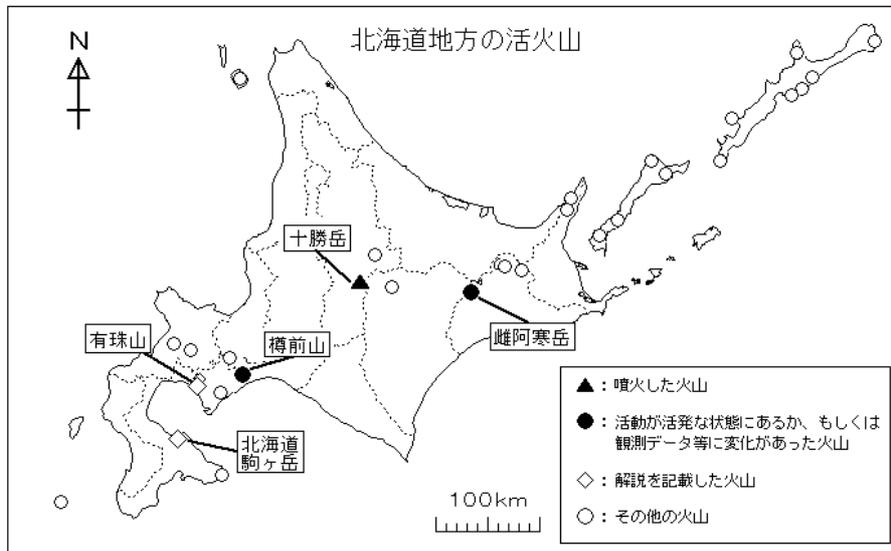


北海道地方の火山活動解説資料(年報:平成16年)

札幌管区気象台 火山監視・情報センター



火山活動解説資料(年報)は、北海道地方の活火山について札幌管区気象台が年間の活動状況をとりまとめたもので、毎年1月上旬に公表しています。

平成16年の月別火山活動状況	火山名	平成16年(2004年)												
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
噴火した火山	雌阿寒岳													
活動が活発な状態にあるか もしくは観測データ等に变化があった火山	十勝岳													
	樽前山													
	有珠山													
9月から掲載基準を変更しています	北海道駒ヶ岳													

雌阿寒岳、十勝岳、樽前山ではやや活発な状態で経過しました。

雌阿寒岳

パンマチネシリ 96-1 火口は、2000 年以降噴煙活動がやや弱い状態となりましたが、火口温度は 300 以上と高温の状態が続いており、火山活動はやや活発な状態で経過しました。火口近傍では引き続き注意が必要です。

十勝岳

62-2 火口は噴煙活動が活発で高温の状態が続き、火山活動はやや活発な状態で経過しました。2月と4月および11月には振幅の小さな火山性微動が発生しました。このうち2月25日と4月19日の微動発生時には62-2火口から火山灰混じりの有色噴煙が観測されましたが、強い噴出を示す空気振動は認められませんでした。微動発生源は浅く、有色噴煙の前後で火山性地震の増加も見られないことから、これらの現象は本格的なマグマ活動によるものではなく、火口直下浅部における地下水や火山ガスが関係した小規模な現象であると考えられます。同様な現象は今後も見られる可能性があります。

樽前山

A 火口やB 噴気孔群は高温の状態が続いており、火山活動はやや活発な状態で経過しました。火口近傍では引き続き注意が必要です。

有珠山

火山活動は静穏に経過しました。

北海道駒ヶ岳

火山活動はおおむね静穏に経過しました。わずかな山体膨張や、2003年9月以降見られている弱い噴気は引き続き観測されています。

また、1996年から2000年までの間に小噴火が繰り返し発生しており1929年大噴火や1942年中噴火の前の状況に類似しています。しばらくは活動推移を見守る必要があります。

上記以外の火山は静穏に経過しました。